

■ 天神橋筋商店街に地域研究・社会連携のハブ拠点 ■

関西大学リサーチ・アトリエ「楽歳天三・楽市楽座」をオープン

日時：7月9日(金) 11時～11時45分 場所：天神橋3丁目商店街(大阪市北区)

関西大学では、7月9日(金) 11時から、地域研究・社会連携の拠点として大阪市北区の天神橋3丁目商店街に新たに開設する、関西大学リサーチ・アトリエ「楽歳天三・楽市楽座」のオープニングセレモニーを下記のとおり举行します。

関西大学リサーチ・アトリエは、文部科学省平成22年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された研究プロジェクト「社会的信頼システム創生センター」が設立する研究・社会連携拠点で、主として地域研究を行う「楽歳天三」と、社会連携を展開する「楽市楽座」が共同で活動する場です。(各センター等の詳細は次頁をご参照ください。)

つきましては、お忙しいところ恐縮ではございますが、取材についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 日時 7月9日(金) 11:00～11:45 (10:00 報道受付)
- 場所 関西大学リサーチ・アトリエ
(大阪市北区天神橋3丁目9番9号 地下鉄堺筋線「扇町」駅から徒歩約5分)
- 出席者 関西大学 学長 楠見 晴重
(予定) 副学長 上島 紳一
学長補佐 林 宏昭
関西大学社会的信頼システム創生センター センター長 与謝野 有紀
天神橋筋商店連合会 会長 土居 年樹 ほか
- 次第 11:00 挨拶 関西大学学長 楠見晴重
天神橋筋商店連合会会長 土居年樹 ほか
11:20 テープカット
11:25 活動内容紹介、オープニングイベント案内

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 木村、北谷、小野、常田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 各センター等の概要

<社会的信頼システム創生センター>

文部科学省平成22年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された研究プロジェクトで、①社会的信頼が持続するような社会システム設計の学際的研究、及びこのような社会システム創生への実践を推進すること、②研究と実践を通じ、社会問題を軽減・解消し、社会発展を促進すること、の2点を主軸とする研究機関です。

このたび開設するリサーチ・アトリエは、上記の研究活動を展開するための重要な地域拠点です。

<楽歳天三 (RAKUSAI:Research Atelier of Kansai Univ. for Social Association and Interaction)>

社会的信頼システム創生センターの研究活動拠点となるのが RAKUSAI で、地域研究を主とする研究者、学生が地域情報の収集と地域住民との交流、地域への情報発信を行います。

英語略称を RAKUSAI とし、「豊年の年」を意味する「楽歳」と名づけました。

天神橋筋商店街に立地する利点を活用し、商店街における通行量および店舗変化、回遊状況の分析を行うほか、地域交流の実態を調査して地域活性化・信頼創生のモデルを開発・実践したり、地域参加型のゲーミング・シミュレーションの実験研究を行うなど、さまざまなアクション・リサーチを行います。

また、山村の限界集落や都市部での高齢地域における諸問題の解決、里山の維持などをも研究の対象とし、国内の他大学研究者や海外研究者との研究交流の場として活発に利用する予定です。

<天満天神 楽市楽座>

関西大学の社会連携、地域連携の拠点となるのが「楽市楽座」で、天神橋筋商店街に限らず、学・地・産にわたる幅広い連携活動を展開します。

これまで、天神橋筋商店街では、観光や買い物に訪れる人々に名所や目当ての店・街の歴史まで幅広く案内する「町街人(まちがいど)」や大阪天満宮の「天満天神・花娘(はなむすめ)」として、本学学生ボランティアが地域の活動に関わってきました。今後はさらに、商店街でのフィールドワークや映像作品の制作を行う拠点として、課外活動の発表の場として「楽市楽座」を活用します。

あわせて、関西大学が連携する多数の地域をも交えた、大学をハブとする地域間交流の場として、また、同じく本学が連携協定を締結しているりそな銀行をはじめとする産業界との連携の場として、学・地・産の連携事業を展開する予定です。

■ オープニングイベントについて

7月9日(金)から11日(日)までの3日間、関西大学リサーチ・アトリエのオープニングイベントとして、「豊臣期大坂図屏風」(オーストリア・エッゲンベルク城 所蔵)の複製をリサーチ・アトリエに設置し、一般公開します。

この屏風は、平成18年10月、関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センターによる鑑定の結果、豊臣最盛期の大阪城と城下町を活写した貴重な絵画資料であることが判明し、初めて日本に紹介されたものです。現在、中国・上海で開催されている国際博覧会の大阪館にパネルとして展示されています。